

かながわ経済新聞〔ビズログ〕

KANAKEI

県内ビジネス情報イッキ読み!

Big Log

※本紙全てのコンテンツの無断転載・複製・転用を禁止いたします。

2021
VOL.085 1月号

〈発行〉 **KANAKEI** かながわ経済新聞
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
相模原商工会館 本館 1F
〈制作〉 神奈川新聞社、DNAデザイン

税務・会計・経営支援

0 りんく

会社成長の専門家
りんくグループ
042-730-7881
www.link-tax.com

「人財」でお困りなら

株式会社
MU ミヨシ・ロジスティックス

042-779-9619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

「2:8の法則」とは

新年明けましておめでとうございます。本紙での連載をスタートし早6年目となります。今年は「人と企業」というテーマで、ミクロ的な視点（私の考え）を含めながら今まで触れてきた派遣や請負についてもお話していきたいと思っております。

さて、今回は「自責と他責」について説明します。

「2:8の法則」と呼ばれる法則はご存じでしょうか？これは、わずかに2割の優良顧客が、会社全体の売り上げの8割を占めているという法則です。または「2:6:2の法則」というものもあります。これは「働きアリの法則」とも呼ばれ、組織内においては「上から2割の者が全体の数字の大部分を担っており、6割は普通、下の2割はあまり働かない」とされ、



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～

このことは企業内の組織においても類似しています。

「2:8の法則」や「2:6:2の法則」に関しては、まだどこか詳細を説明いたしますが、今回、特に重視していることは、どちらの法則においても「優秀な部分は2割」であるということです。

ということは、ほとんどの人が普通以下であるということになります。

それならば、この2割の者になればよいと思いますが、この2割になるのはとても難しいといえるでしょう。

しかし、私自身いろいろと経験を積んでいくうち、自分なりの“答え”を見つけることができた気がします。この続きは次号でお話します。

（ミヨシ・ロジスティックス代表取締役／近未来技術研究会会長）

かながわ経済新聞

2021. 1月号

吉田英訓の

連載記事が掲載されました。